

## 【開会 午後2時】

### 1 開 会

### 2 競輪事業部長挨拶

○部長 皆様、こんにちは。今年の4月に就任いたしました、函館市競輪事業部長の林でございます。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

函館市競輪運営協議会開催にあたりまして、一言、ご挨拶を申し上げます。本日は、大変お忙しい中、ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。また、日頃より、市営函館競輪の運営にご理解とご協力をいただき、衷心より感謝を申し上げます。

平成28年度の函館競輪は、特別競輪の開催がなかったものの、当初予算を上回る売上を達成したことや、開催経費の縮減を図ったことなどにより、平成25年度から4年連続の単年度収支で黒字を計上することができ、累積赤字を大きく縮減したところでございます。

また、全国の昨年度の売上は約6千346億円で、3年連続で前年を上回ったところでありますが、人口減少や高齢化の進展、さらには価値観の多様化といった様々な要因を見ますと、競輪界を取り巻く状況は、年々厳しさを増しているものと思っております。

このような状況の中、函館市競輪事業部では、競輪事業の実施による財政への貢献を目指し、自転車競走の振興と発展、さらには産業振興とスポーツ振興に寄与することを目標に掲げ、現在の競輪ファンの維持にとどまることなく、新たなファン層の開拓、さらには経費節減による収益確保について、組織一体となって取り組んでいるところでございます。

このような取り組みの成果として、今年度、ようやく累積赤字を解消することが出来る見込みとなったところであり、平成11年度を最後に、長らく実施することが出来なかった、「一般会計への繰り出し」の再開を目指しておりますほか、競輪場施設の計画的な改修を実施していくための「改修基金への積み立て」についても行ってまいりたいと考えているところでございます。

北海道で唯一の競輪場を将来にわたって継続することができるよう、今後とも努力してまいりますので、皆様の一層のご理解・ご協力をお願いいたします。

本日は、平成28年度の決算と今年度の売上状況、下期の開催日程、移動式エンドレスカメラタワーの更新について、ご報告させていただきます。限られた時間ではございますが、よろしくをお願いいたします。

### 3 報告事項

#### (1) 平成28年度自転車競走事業特別会計決算について

(提出資料1, 2ページに基づき米田事業課長から説明)

○今井会長 このことについて質問あるか？

(各委員：特になし)

#### (2) 平成29年度市営函館競輪売上状況について

(提出資料3ページに基づき米田事業課長から説明)

○今井会長 前年度との比較でマイナスになった要因は何か。

○課長 函館競輪を発売協力していただく臨時場外車券売場の数が減少したため、また、逆に函館競輪との競合する他場の開催が増えたことなどが考えられる。

○今井会長 平成29年度のF I・F II売上は去年に次ぐ売上ということか。

○課長 そうである。

○今井会長 数字で見るほど売上の印象は悪くないということか。

○課長 確かに8億4千万円の売上減少はショッキングな数字ではあるが、語弊はあるかもしれないが、非常にわかりやすく言うと去年が売れ過ぎた。

○今井会長 記念競輪の売上減少の要因は何か。

○課長 日程については、去年は平日終わりであったが、今年は日曜日終わりで組むことができた。しかしながら、記念競輪の売上減少は全国的な傾向で、函館競輪場も伸び悩んだ結果である。

○今井会長 F I・F IIの売上が持ち直してしているのは良い傾向であると思う。

○課長 F I・F IIの売上回復に向けて、全国競輪施行者協議会で極力競合しないように調整している。

○布谷委員 電話投票売上の減少要因は何か。

○課長 電話投票売上がここまで下がることはこれまでなかったので分析しなければならない。ひとつ考えられるのは、地方競馬などもインターネット投票を積極的に行っており、そこへファンが分散しているのではないか。インターネット投票をするファンは、競輪がいいか競馬がいいかということではなく、ゲーム感覚で買うところがある。各公営競技が売り方を工夫することにより、売上が分散しているのではないか。

### (3) 平成29年度函館競輪下期開催日程について

(提出資料4ページに基づき米田事業課長から説明)

○阿部委員 11月の開催はないのか。

○課長 そうである。冬期は閉鎖して、スケート場へ貸し出している。

○今井会長 スケート場の開設期間はいつか

○課長 12月下旬から2月中旬である。

○今井会長 スケート場へ貸し出すことにより、バンクに影響はないのか

○部長 貸し出しはインフィールド部分であり、バンクには影響ない。

## 2 その他

### (1) 移動式エンドレスカメラタワーの更新について

(提出資料5ページに基づき米田事業課長から説明)

○今井会長 エンドレスカメラタワーは今まで不具合はあったのか。

○課長 納入から約27年が経過し古いため、メンテナンスを繰り返してきた。今年に入りいよいよ不具合が目立ってきた。

○今井会長 他にも修繕の予定はあるのか。

○課長 施設は平成14年に建て替えてから既に15年経過しているため、傷みは出てきている。このため、中長期的に改修計画を立てて、施設整備基金の積立をする。

○今井会長 潮風は施設に影響はあるのか。

- 課長 あると思う。特にエンドレスカメラタワーは鉄製であるため影響があるのではないか。
- 木田委員 冒頭の部長挨拶での繰出金は今回の資料のどの部分に該当するのか。また、繰出金は特別な使い道はあるのか。
- 部長 競輪事業は利益を一般会計へ繰り出して、市民還元をしていくことが目的である。これまでは赤字のため繰り出すことはできなかったが、今年度で累積赤字が解消する見込であり、来年度から一般会計に繰り出していけるだろうといった状況である。これも皆様のご協力のお陰である。累積赤字解消が実現すると、函館市の一般会計へ繰り出して、産業・スポーツ振興などの分野を中心に使われると思っている。繰出金は使途が決まったものではなく、市の財政部局が使途を検討する。
- 木田委員 来年度以降も繰出金を出るようお願いしたい。
- 部長 頑張りたい。
- 穴田委員 確認であるが、収益保証2億円は5年間なのか。
- 部長 現在、包括委託業務を締結している業者とはそのような契約を結んでいる。
- 穴田委員 収益保証により2億円が担保できているので、黒字になるということか。
- 部長 競輪事業部での黒字の部分もある。これも合わせて2億円の収益となる。
- 今井会長 エンドレスカメラタワーの金額は今年の予算に組み入れられるのか。
- 部長 支払が発生するのは平成30年度である。しかしながら、業者は年度をまたいで設備を作っていく。このため、債務負担行為といった形で意思表示して、業者に対する保証をするものである。
- 今井会長 エンドレスカメラタワーの支払も含めて黒字ということか。
- 部長 そうである。
- 穴田委員 企画レースは考えているか。

○部長 全国競輪施行者協議会やJ K Aが色々な企画レースを調査・研究中である。特にガールズケイリンは全国的に注目を集めている。復活してからの歴史が浅いため、全国にガールズケイリン選手は110人程しかいない。仮にガールズケイリンを7レース制で招致した場合、全国の選手の半分が来ることになる。このため、全国的に影響を及ぼす。この点を十分に考慮しながら、調査・研究を進めていきたい。

○今井会長 事務局，委員からなにかあるか？

(事務局・各委員：特になし)

=以上をもって終了=